



せんだん

学校教育目標

「進んで学び、心やさしく、たくましい児童の育成」

No.17 令和6年12月24日 校長 松本 成浩

2学期、無事に終了することができました！！

8月26日に始まった2学期は、直後の29日、30日が台風の影響で臨休となり、また、その後はなかなか涼しくならず夏暑さが続いて、天気にも悩まされた感じもしましたが、様々な学習や学校行事を無事に行うことができました。今学期は特に、ふれあい道徳と育友会人権・同和問題研修、運動会や日曜参観・バザーなど保護者や地域の皆様にご協力、お手伝いいただく活動が多く、大変お世話になりました。子供たちが地域の皆様に支えられ、見守られながら伸びやかに成長できていることを、大変嬉しく感じると同時に感謝しているところです。ありがとうございました。

先日は老人クラブの皆様に、玄関に立派な門松を飾っていただきました。皆様もどうか健やかに、よいお年をお迎えください。



たくさんの福が舞い込んできそうです

縦割り班での「せんだん掃除」を頑張っています

本年度は、各学級ごとに割り振られた区画の掃除ではなく、1年生から6年生の異学年で構成する縦割り班ごとに掃除場所を決めて、ローテーションしていく方式で掃除を行っています。上級生が指導することによるリーダー性の育成や様々な掃除場所での様々な掃除の役割を理解し、実践できる力を養うこと、一人一人が役割を自覚して協力して活動できるようになることなどをねらいとして取り組んでいます。年度当初と比べると、ずいぶん手際よく掃除ができるようになっていきますよ。



昇降口、靴箱付近の掃除の様子



掃除後には反省も行っています

6年生「がん教育」講座を受講しました

子供ががんにについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにすることを目的として、県の事業として取り組まれている「がん教育」の講座を6年生が受講しました。講師として山代町の西田病院で看護師をされている正木先生にお出でいただき、がんについて分かりやすく解説していただきました。がんとは、遺伝子の変異でおこること、全身病とも言われることなどの概要とがんと闘い高校生で亡くなってしまった患者さんのお話をしていただきました。事後の感想では、日本人の2人に1人の割合でかかること、治療法として4つ方法があること、再発してしまうことがあることなどが多く書かれていました。また、一つしかない命を大切にしていきたいと思ったこと、もし周りで患者さんがいたらやさしく寄り添っていきたいといったことなども書いていました。厳しい課題ですが、向き合う必要があります。



1人1人に大切なものを尋ねられました